

# 令和2年度 前期評価（改善プラン）

教職員自己評価について（回答率×評価平均）÷4×100として80%以上をA、70%以上80%未満をB、70%未満をCとしています。

外部評価について 上記教職員自己評価と同じく、保護者と児童生徒それぞれから%の平均を求め、80%以上をA、70%以上80%未満をB、70%未満をCとしています。

項目	NO.	評価内容(1～24まで教職員項目, 25～26は保護者項目)	教職員		保護者		児童生徒		○成果 ●課題 ☆改善策	自己評価	外部評価	自己評価の適正さ	改善策の適正さ
			回答率	評価平均	回答率	評価平均	回答率	評価平均					
1 学校運営に関して (分析担当:管理職)	1	子どもと向き合うための時間の確保と効率的な学校運営による働き方改革を進めている。	100%	3.7	100%	4.0	100%	3.9	○保護者と児童生徒からは、教職員は子どもと十分に向かい合っていると受け止められている。 ☆働き方改革は、単なる時短ではなく、学習指導要領に即した教育改革につながるためのものであると意識して学校運営に取り組む。	A	A	A	A
	2	参観日・学校だより・HP・学年学級通信等を通して教育活動の成果や課題を発信するなど地域や保護者との連携を十分に図っている。	100%	3.8	100%	4.0	100%	3.9	OHPや各種通信で子どもたちの教育活動や課題などについて地域や保護者へ伝え、連携を図ることができた。 ☆学校運営協議会を機能させて、より社会に開かれた学校づくりに邁進していきたい。	A	A	A	A
2 教育課程に関して (分析担当:教務係)	3	児童生徒の実態を踏まえて指導の内容や時間を創意工夫し、重点目標である主体的・対話的に深く学ぶ力の育成を図っている。	100%	3.4	100%	4.0	100%	4.0	○指導の内容や時間の工夫については、臨機応変に対応しながら教育課程や時間割を編成できた。 ☆今後も状況に合わせて計画を変更しながら、特色ある教育の充実を図っていく。	A	A	A	A
	4	小中連携を深め、学力や体力向上に向けた取組を組織的に企画・実施することで、併置・少人数の利点を活かした特色ある教育の充実を図っている。	100%	3.7	100%	4.0	100%	3.8	☆小学校中学校にかかわらず、各先生方がサポートしながら学習を進めていける体制を継続していく。	A	A	A	A
3 学習指導に関して (分析担当:教務係)	5	問題解決的な学習の充実やICTを活用した授業改善、教材・指導方法を工夫することにより、個に応じたわかりやすい授業を心掛けている。	100%	3.7	100%	4.0	100%	3.7	○ICTを活用し、個に応じた授業を行うことができた。 ☆今後も引き続き授業改善と個に応じた授業を進める。	A	A	A	A
	6	小中統一の学習規律や学習の手引きの定着に努めるとともに、eライブラリを活用するなど家庭学習の定着や義務教育修了時の生徒を常にイメージし、子どもの成長に生かす評価に努めている。	100%	3.5	80%	4.0	100%	3.8	○保護者と児童生徒からは、評価について理解を得られている。 ☆今後も子どもの成長に活かす適正な評価に努める。	A	A	A	A
4 道徳教育に関して (分析担当:道徳推進教師)	7	「道徳の時間」を要とし、教育活動全体を通じて「心がられあう場面」を仕組み道徳的心情を高めるなど道徳教育の充実を努めている。	100%	3.4	90%	4.0	100%	3.4	●道徳の時間をしっかり確保し、授業を行っているが、児童生徒の評価は低め。 ☆教科を通し「自分の生き方について考える」機会がもてるとよい。	A	A	A	A
	8	教育活動を通じて家庭や地域との連携を深め、社会への帰属意識や愛着心を育てることで「いじめ」防止の徹底を図るとともに、人権意識の向上に努めている。	100%	3.6	90%	4.0	90%	3.7	○今年は人権の花の取組も行い、より意識を高めることができた。 ☆今後も日常の生徒指導や道徳の時間を通して人権意識の向上を図る。	A	A	A	B
5 研修に関して (分析担当:研究係)	9	校内研修を通じて教職に対する自覚を高め、教師としての資質・能力の向上に努めている。	100%	3.6	100%	4.0	100%	3.9	☆今後も授業技術向上に役立つよう校内研修の内容を精選していく。	A	A	A	A
	10	校外への研修に積極的に参加し学びの環流をする等、教師としての資質・能力の向上に努めている。	100%	3.2	90%	3.9	100%	3.4	☆コロナ禍の中で中止・延期になった研修が多かったが、今後は実施されていく研修に積極的に参加を呼びかける。	A	A	A	A
6 特別活動に関して (分析担当:文化係)	11	運動会、文化祭など、子どもたちの心を育てる学校行事の実施に努めている。	93%	3.2	100%	3.9	100%	3.5	☆可能な範囲で状況を見ながら実施に努める。	B	A	A	A
	12	学年の発達段階に応じて、子ども自身が判断・選択・決定する活動場面をつくるなどの児童生徒会や各集会活動などの実施に努めている。	100%	3.6	100%	4.0	100%	3.5	☆児童生徒会を中心に今後も取り組んでいく。	A	A	A	A
7 総合的な学習の時間に関して (分析担当:教務係)	13	地域の自然環境や外部人材を活用し、体験活動を重視した実践を進めている。	93%	2.7	70%	3.9	90%	3.3	☆今年度は体験活動を自粛しなければならない場面もあるが、行事を中心に外部人材の活用した実践を進める。	C	B	A	B
	14	主体的な探究活動を促しながら、個に応じた支援を講じ、表現力や思考力を高める指導の充実を努めている。	100%	3.3	80%	3.9	100%	3.5	☆自分の興味関心を広げて、職業調べや総合的な学習発表会を今年も行っていく。	A	A	A	A
8 生徒指導に関して (分析担当:生徒指導係)	15	日頃から子どもの心に寄り添った指導に努めている。	100%	3.9	100%	3.9	100%	3.9	☆日々の声掛けや教育相談を活用しながら、継続して指導にあたる。	A	A	A	A
	16	いじめ防止や情報モラル、非行防止等の指導を充実し、問題発生への未然防止・早期発見に努めている。	100%	3.7	100%	4.0	100%	3.8	☆日常的な指導の他に、教科や道徳の中で情報モラルやいじめ防止など重点的に指導に当たる機会を設定する(10月)	A	A	A	A
9 キャリア教育に関して (分析担当:教務係)	17	児童生徒の興味・関心・適性、夢や将来の職業観などを的確に把握に努め学年に応じたキャリア発達を育む指導をしている。	100%	3.4	100%	3.9	100%	3.5	☆キャリアパスポートも利用しながら今後とも嵐山のキャリア教育全体計画を意識して指導を進めていく。	A	A	A	A
	18	学校の教育活動全体を通して、社会的・職業的自立にむけた基礎的・汎用的能力を育む指導に努めている。	100%	3.4	90%	3.6	100%	3.3	☆キャリアパスポートも利用しながら今後とも嵐山のキャリア教育全体計画を意識して指導を進めていく。	A	A	A	A
10 健康安全に関して (分析担当:保体・生活安全係)	19	日常の基本的な生活習慣を身に付けさせる指導を充実し、健康・安全に対する自己管理能力を養うとともに、体力向上の意識を養っている。	100%	3.6	100%	3.4	100%	3.2	☆チャレンジタイムの実施の他、日常的に体を動かす機会を増やしていく	A	A	A	A
	20	子どもたちが安心・安全に生活できるよう、校内の施設・設備の整備点検や登下校の安全確保に努めている。	100%	3.8	90%	4.0	100%	3.8	○継続して安全点検を実施してきた ☆登下校の声掛けを継続する	A	A	A	A
11 特別支援教育に関して (分析担当:コーディネーター)	21	個別の支援計画・指導計画を作成し、支援のあり方について、全教職員で共通理解を図っている。	100%	3.8	70%	4.0	100%	3.7	○各担任の先生方の協力で、支援・指導計画を作成できた。 ☆個別の支援・指導計画を活用し、全職員で共通理解のもと指導にあたる。	A	A	A	A
	22	小中コーディネーターを核として、保護者や関係機関等との連携を図っている。	100%	3.6	60%	4.0	100%	3.7	☆支援学級以外の保護者にも支援教育の取組をお知らせし理解されるよう、連携を密に図っていく。	A	B	A	A
12 学年・学級経営に関して (分析担当:教務係)	23	様々な活動場面で適切な目標や役割分担を定めることにより、自己存在感の醸成や、高め合う集団作りを進めている。	100%	3.6	90%	4.0	100%	3.5	☆個に応じたきめ細かい支援をこれからも継続する。 ☆目標をたて、振り返りをしながら、できるようになったことを確認する時間を確保する。	A	A	A	A
	24	発達段階に応じて自信のもてる取組を増やす指導を通じて自尊感情が高まるよう工夫した指導を心掛けている。	100%	3.6	100%	4.0	100%	3.6	☆スモールステップでの学習を進め、少しの困難を乗り越える達成感を味わわせる指導を継続する。	A	A	A	A
13 児童生徒に関して (分析担当:教務係, 生徒指導係)	25	子どもは、家庭でしっかり学習に励んでいる。			100%	3.1	100%	3.2	☆今後もeライブラリを活用しながら、家庭での学習を進めていける環境をおしすすめる。		B		A
	26	子どもは、あいさつや言葉遣いがよい。			90%	3.6	100%	3.5	☆良い挨拶や言葉遣い話し方ができていたときに良さを認め褒めることで、次も実践しようという意欲を育てる		A		A